

2025年度 事業報告

(2025年4月1日～2026年3月31日)

2025年度の概況

2025年度の助成事業については、音楽分野および地域の伝統文化分野ともに計画どおりに行なうことができた。

音楽分野においては、例年どおり対面で実技・面接による海外音楽研修生の選考を行ない、第1回理事会（5月23日開催）で助成対象者6名を決定した。その後、7月11日に日本工業倶楽部で、音楽分野の選考委員に加えて来賓として文化庁参事官（芸術文化担当）付芸術文化支援室長等をお招きし、海外音楽研修生を対象とした助成金目録贈呈式を開催した。また、海外音楽研修生に演奏機会を提供する取組みとして、明治安田ホール丸の内で演奏会を2回開催した。

地域の伝統文化分野においては、2024年度第3回理事会（3月6日開催）で決定した助成先57団体について、出捐元である明治安田生命保険相互会社の最寄りの支社に「助成金目録贈呈式」の開催を依頼し、57団体について5月から8月にかけて実施した。開催開場は昨年度に引き続き、地元の市町村庁舎等で開催することを優先し、その結果多くの地方紙や地元テレビ局によって贈呈式の開催状況が報道されることとなった。

主務官庁である内閣府への届け出等については、2024年度事業報告等を6月20日付で、監事の変更を8月4日付で、さらに2026年度の事業計画等を2026年3月10日付で提出した。

業務運営面では、元本毀損リスクのある財産運用に関して、毎月「財産運用モニタリング会議」を開催し、リスク管理態勢の高度化に努めている。また、出捐元である明治安田生命保険相互会社関連部との情報共有を目的に、9月25日に不動産部長陪席のもと、3月17日には株式投資部長陪席のもと「財産運用会議」を開催した。

I. 事業の状況

1. 音楽分野への助成

若手音楽家の人材育成に対する助成として、次の助成事業を実施した。

- ・海外における音楽研修生に対する留学費助成
- ・国内音楽学生に対する奨学金助成
- ・日本音楽コンクールに対する助成
- ・若手音楽家に対する演奏機会の提供

(1) 海外における音楽研修生に対する留学費助成

ア. 助成趣旨

わが国のクラシック音楽文化向上のため、国際的音楽家をめざして研鑽中の若手音楽家に対して、海外特に欧米に留学することにより技術を錬磨するとともにその実体験を通じてさらに音楽家として成長することを期待して、留学に必要な費用を支援

イ. 助成金額

留学受入先の入学決定を条件に、年額240万円（最長2年間）を助成。なお、2025年度より従来の年額200万円を年額240万円に増額するとともに、助成対象者を原則4名から5名に増員

ウ. 公募関係

① 公募期間

2025年1月6日～4月4日

② 告知の方法

音楽専門大学あて案内（32校）

演奏家団体あて案内（53団体）

音楽指導者あて案内（310名）

「音楽の友」等音楽専門誌・その他マスコミあてニュースリリース送付
財団ホームページへの掲載

③ 応募数

2025年度			2024年度		
64名			48名		
内 訳	声楽	21名	内 訳	声楽	11名
	ピアノ	21名		ピアノ	18名
	弦楽器	8名		弦楽器	6名
	管楽器	14名		管楽器	12名
	打楽器	0名		打楽器	1名

④ 応募者の情報入手経路の割合（複数回答を含む）

申込経路	2025年度	2024年度
過去応募者	5.4%	16.1%
学内掲示	8.1%	12.9%
知人・友人	25.7%	14.5%
指導者等	18.9%	11.3%
音楽誌等	0.0%	0.0%
インターネット	41.9%	45.2%

エ. 選考経過

- ・ 1次選考委員会を4月21日に東京オペラシティ小リハーサル室で開催し、応募書類および映像資料審査の結果、1次通過者として20名を選考
- ・ 2次選考委員会を5月19日に東京オペラシティリサイタルホールで開催し、実技および面接審査の結果、6名の助成対象候補者を選考
- ・ 5月23日開催の2025年度第1回理事会で助成対象者を承認

【2025年度助成対象者6名 助成決定額2,400万円（敬称略）】

氏名	専攻	助成期間	留学（志望）先
最終学歴			
前島 眞奈美	声楽（ソプラノ）	2年	ミラノ市立音楽院 （イタリア・ミラノ）
2024.9～ミラノ市立音楽院1年在学			
依光 ひなの	声楽（ソプラノ）	1年	ボローニャ国立音楽院 （イタリア・ボローニャ）
2024.11～ボローニャ国立音楽院修士課程1年在学			
佐藤 滉海	ピアノ	2年	パリ国立高等音楽院 （フランス・パリ）
2023.4～東京芸術大学音楽学部3年在学			
河井 勇人	ヴァイオリン	2年	ハンスアイスラー音楽大学 （ドイツ・ベルリン）
2025.4～ハンスアイスラー音楽大学修士課程1年在学			
泉 優志	チェロ	1年	ザール音楽大学修士課程 （ドイツ・ザールブリュッケン）
2023.10～ザール音楽大学修士課程2年在学			
古賀 朝也	ファゴット	2年	ミュンヘン音楽大学 （ドイツ・ミュンヘン）
2025.3 東京芸術大学音楽学部卒業			

オ. 2025年度助成実行状況

- ・ 海外研修に対する留学費用助成の対象者6名への助成金目録贈呈式を、予定どおり7月11日に日本工業倶楽部で開催
- ・ なお、助成金は助成目的事由が確定（海外留学先教育機関入学許可証または在学証明書を提出）した後に支給

【海外音楽研修生に対する2025年度の助成実行状況】

助成決定年度	助成実行		未払額	
	人数	金額	人数	金額
2023年度	3名	477万円	0名	0万円
2024年度	4名	857万円	2名	240万円
2025年度	6名	960万円	6名	1,440万円
合計	13名	2,294万円	8名	1,680万円

(2) 国内音楽学生に対する奨学金助成

ア. 助成趣旨

わが国のクラシック音楽文化向上のため、将来の専門家をめざして勉学中の国内音楽学生に対して奨学金を支給

イ. 助成金額

指定13校から各1名（原則3年次以上）に対し年額30万円の奨学金助成（最長2年間）を実施

ウ. 推薦受付

- ・2025年1月20日、指定13校に対し助成対象候補者の推薦を依頼
- ・5月9日に受付を締め切り、指定13校からの推薦13名を受付け

エ. 選考経過

- ・5月19日開催の選考委員会において、国内音楽学生奨学金の助成対象候補者として13名を選考
- ・5月23日開催の2025年度第1回理事会で助成対象者を承認

【2025年度助成対象者13名 助成決定額630万円】（敬称略）

氏名	在籍大学（推薦校）	学年	専攻
●● ●●	東京藝術大学音楽学部	4年	指揮
●● ●●	愛知県立芸術大学音楽学部	4年	ピアノ
●● ●●	京都市立芸術大学音楽学部	4年	ピアノ
●● ●●	沖縄県立芸術大学音楽学部	4年	音楽学
●● ●●	武蔵野音楽大学音楽学部	3年	ピアノ
●● ●●	国立音楽大学音楽学部	3年	フルート
●● ●●	桐朋学園大学音楽学部	3年	ヴァイオリン
●● ●●	東京音楽大学音楽学部	4年	クラリネット
●● ●●	昭和音楽大学音楽学部	3年	作曲
●● ●●	洗足学園音楽大学	3年	電子オルガン
●● ●●	大阪音楽大学音楽学部	3年	クラリネット
●● ●●	エリザベト音楽大学音楽学部	3年	作曲
●● ●●	北海道教育大学岩見沢校芸術・スポーツ文化学科	3年	ピアノ

オ. 2025年度助成実行状況

指定13校から推薦された3年次以上の学生各1名を助成対象者とし、年額30万円（上期、下期各15万円）を支給

【国内音楽奨学生に対する2025年度の助成実行状況】

助成決定年度	助成実行		未払額	
	人数	金額	人数	金額
2024年度	9名	270万円	0名	0万円
2025年度	13名	390万円	8名	240万円
合計	22名	660万円	8名	240万円

(3) 日本音楽コンクール（主催：毎日新聞社／日本放送協会）に対する助成

11月19日の表彰式において、作曲部門最優秀者へ「明治安田賞」50万円を贈呈した。

<第94回日本音楽コンクール作曲部門結果>

本選会：11月22日 5作品（応募34作品）於：東京パセラティコンサートホール

最優秀者：第1位 徳田 旭昭氏

(4) 若手音楽家に対する演奏機会の提供(敬称略)

7月27日 谷口 知聡（2021海外音楽研修生,ピアノ）於：明治安田ホール丸の内

10月5日 櫻井 愛子（2020海外音楽研修生,声楽）於：明治安田ホール丸の内

2. 地域の伝統文化分野への助成

地域の伝統文化の保存維持および後継者育成に対する助成として、次の助成事業を実施した。

ア. 助成趣旨

古来、地域に伝承されてきた民族固有の伝統的な文化である地域の民俗芸能・民俗技術等を正しく後世に残すため、その継承活動、特に後継者育成に必要な諸活動費に対する支援を実施

イ. 助成対象

- ・地域の民俗芸能(民俗行事・民俗音楽を含む)の継承、後継者育成のための助成
- ・地域の民俗技術(伝統的製作技術・衣食住に関わる生活技術・伝統工芸を含む)の継承、後継者育成のための助成

ウ. 助成金額

地域の民俗芸能への助成は70万円、地域の民俗技術への助成は40万円を限度として助成を実施

エ. 公募関係

① 公募期間

2024年10月1日～2025年1月31日

② 告知の方法

都道府県の知事部局および教育委員会の文化担当課ならびに県立の博物館等に申込要領を送付し、応募者の推薦を依頼。加えて、地方紙を中心としたマスコミあてにニュースリリースを発送

③ 応募数

年度	区分	件数	申込都道府県数
2025年度	民俗芸能	167件	43
	民俗技術	7件	5
	合計	174件	延べ43
2024年度	民俗芸能	139件	40
	民俗技術	6件	4
	合計	145件	延べ40

オ. 選考経過

- ・2025年2月20日開催の選考委員会において、書類審査により助成対象候補57件を選考
- ・2025年3月6日開催の2024年度第3回理事会において、助成対象候補を承認

年度	区分	件数	助成金額
2025年度	民俗芸能	52件	2,135万円
	民俗技術	5件	165万円
	合計	57件	2,300万円
2024年度	民俗芸能	57件	2,061万円
	民俗技術	4件	139万円
	合計	61件	2,200万円

カ. 2025年度助成実行状況

- ・4月初旬、出捐元である明治安田生命保険相互会社の最寄りの支社に「助成金目録贈呈式」の開催を依頼
- ・5～8月にかけて、第一推薦者である市町村の庁舎等もしくは明治安田生命の最寄り支社において、都道府県推薦窓口の方も招き助成金目録の贈呈式を実施。なお、助成金は助成金目録の贈呈後に助成対象先が希望する月に支給

キ. 助成対象一覧

【2025年度助成対象一覧（民俗芸能の部）】

(単位:万円)

都道府県	助成対象(団体等)	伝承行事・芸能の名称	助成目的	助成額
北海道	下賀老獅子保存会	下賀老獅子舞	獅子銅幕購入	40
北海道	江差餅つき囃子保存会	江差餅つき囃子	杵・衣装購入	20
北海道	羽幌町 加賀獅子保存会	羽幌町加賀獅子舞	祭前掛購入	50
青森県	百目木 神楽会	百目木神楽	締太鼓購入	45
青森県	白糠婦人会	七福神舞、大黒舞	衣装購入	50
岩手県	宮出鹿踊保存会	宮手鹿踊	鹿頭購入	50
岩手県	白澤鹿子踊保存会	白澤獅子踊	締太鼓購入	60
宮城県	真坂鹿踊保存会	一迫町鹿踊	桶太鼓購入	50
秋田県	金浦神楽保存会	金浦神楽	宮太鼓修理	60
山形県	吹浦田楽保存会	吹浦田楽舞	花笠製作	20
福島県	松川神楽保存会	松川神楽	太鼓・衣装購入	30
茨城県	櫻塚おはやし保存会	関本祇園囃子	太鼓・衣装購入	40
栃木県	長沼八幡宮永代太太神楽保存会	長沼八幡宮永代太太神楽	衣装購入	55
群馬県	椿名神社太々神楽保存会	椿名神社太々神楽	道具・衣装修理	15
埼玉県	長野ささら獅子舞保存会	長野ささら獅子舞	道具・衣装購入	60
埼玉県	下名栗諏訪神社獅子舞保存会	下名栗諏訪神社の獅子舞	紫地帯修理	60
千葉県	村上神楽保存会	村上の神楽	太鼓購入	35
東京都	榮町囃子連	神田流囃子	締太鼓修理	40
神奈川県	曾我別所祭保存会	宗我神社の祭礼の山車と囃子	大太鼓購入	30
神奈川県	菊名のあめや踊保存会	菊名のあめや踊り	人形修理	50
新潟県	若宮八幡宮御神楽保存会	若宮八幡宮神楽舞	神楽装束購入	50
富山県	稗田伝統文化保存会	稗田神社の神輿巡行と火渡り神事	衣装購入	35
石川県	本町三丁目獅子舞保存会	本町三丁目の獅子舞	薙刀・太刀購入	60
福井県	馬鹿ばやし保存会	馬鹿ばやし	背面幕製作	55
長野県	大豆島神楽保存会	更級神明大神社太々神楽	獅子舞幌購入	20
岐阜県	上広瀬金蔵獅子保存会	金蔵獅子	金蔵獅子購入	20
静岡県	横岡八幡神社神楽保存会	横岡八幡神社の神楽	衣装購入費	25
愛知県	印内祭礼保存会	桜井神社の祭礼	太鼓・笛購入	30
愛知県	大池組	布土区祭礼	篠笛購入	11
滋賀県	大溝祭龍組曳山保存会	大溝祭曳山のお囃子	篠笛購入	30
京都府	伊根町 本庄上区	本庄上太刀振り	提灯購入	37

大阪府	片江青年会	生野のだんじり(囃子)	太鼓購入	35
大阪府	出屋敷町地車保存会	濱八町のだんじり(囃子)	太鼓購入	40
大阪府	仲之町地車保存会(仲之町世話人会)	仲之町のだんじり(囃子)	太鼓購入	34
大阪府	東羽衣地車奉賛会	高石だんじり(囃子)	太鼓購入	8
大阪府	狭山まつり保存会	狭山だんじり祭	太鼓購入	30
兵庫県	松原神社太鼓保存会	旧浜田村秋季例大祭	太鼓購入	50
和歌山県	平松獅子舞保存会	平松の獅子舞	獅子頭修理	40
島根県	三谷神楽社中	三谷神楽	神楽衣装購入	70
広島県	呉市広小坪自治会	小坪神楽	太鼓購入	60
山口県	むつみ神楽保存会	むつみ神楽舞	蛇頭購入	50
徳島県	木ノ内獅子舞保存会	木ノ内獅子舞	獅子頭修理	60
香川県	垂水神社奴組保存会	垂水神社の奴行列	奴挟箱購入	60
愛媛県	古谷多伎獅子保存会	継ぎ獅子と獅子舞	衣装修理	24
高知県	八代青年団	八代青年保能歌舞伎	舞台番傘購入	40
佐賀県	呼子大綱引振興会	呼子の大綱引き	ロープ購入	30
長崎県	森山本村郷土芸能保存会	白塔掛打	太鼓購入	25
長崎県	皿山人形浄瑠璃保存会	皿山の人形浄瑠璃	人形衣装購入	50
熊本県	岩本神楽保存会	岩本神楽	太鼓修理購入	26
宮崎県	穂満坊あげ馬保存会	穂満坊あげ馬	陣笠・帯購入	50
鹿児島県	伊作流鎗馬保存会	伊作流鎗馬	馬購入	70
沖縄県	大兼久婦人会	大兼久の七月エンサー	道具衣装購入	50
合計：52件 2,135万円				

【2025年度助成対象一覧（民俗技術の部）】

(単位:万円)

都道府県	助成対象(団体等)	民俗技術の名称	助成目的	助成額
宮城県	しろいしプロジェクト	白石紙布製作技術	記録誌製作	40
東京都	小野路のめかい 篠・竹細工伝統技能保存会	めかい籠製作技術	めかい包丁	30
岐阜県	小屋名しょうけ保存会	小屋名しょうけ	材料購入	40
兵庫県	かみや民藝店	城崎麦わら細工	作業台購入	30
鹿児島県	伊崎田和紙保存会	伊崎田和紙製作技術	漉き簀購入	25
合計：5件 165万円				

3. 機関誌の発行

- ・音楽分野『いい人・いい音』2026年1月発行(1,300部)
- ・伝統文化分野『地域の伝統文化』2025年10月発行(3,000部)

【参考】年度別 助成申込件数、助成対象決定件数、助成金額

(金額単位：万円)

分野 年度	音楽分野					伝統文化分野			金額計	
	日本音楽 コンクール	海外音楽 コンクール	海外音楽 研修生	音楽学生 奨学金	音楽 計	民俗芸能	民俗技術	伝統文化 計		
1991 ～ 2015	申込	25	265	2,195	254	2,739	3,372	203	3,575	139,727
	決定	28	40	139	254	461	946	105	1,051	
	金額	7,250	3,770	54,680	18,480	84,180	51,695	3,852	55,547	
2016	申込	1	—	67	11	79	137	3	140	4,270
	決定	1	—	5	11	17	41	2	43	
	金額	50	—	1,800	570	2,420	1,800	50	1,850	
2017	申込	1	—	56	11	68	134	6	140	4,130
	決定	1	—	4	11	16	42	1	43	
	金額	50	—	1,600	630	2,280	1,811	39	1,850	
2018	申込	1	—	61	11	73	136	6	142	4,100
	決定	1	—	5	11	17	41	2	43	
	金額	50	—	1,600	600	2,250	1,775	75	1,850	
2019	申込	1	—	64	11	76	118	8	126	4,100
	決定	1	—	4	11	16	39	3	42	
	金額	50	—	1,600	600	2,250	1,736	114	1,850	
2020	申込	1	—	58	11	70	133	5	138	4,160
	決定	1	—	6	11	18	39	3	42	
	金額	50	—	1,600	660	2,310	1,740	110	1,850	
2021	申込	1	—	67	11	79	78	1	79	4,160
	決定	1	—	5	11	17	42	1	43	
	金額	50	—	1,600	660	2,310	1,813	37	1,850	
2022	申込	1	—	38	11	50	73	4	77	4,210
	決定	1	—	5	11	17	43	2	45	
	金額	50	—	1,600	660	2,310	1,820	80	1,900	
2023	申込	1	—	64	11	76	84	1	85	4,397
	決定	2	—	5	11	18	47	1	48	
	金額	50	—	1,677	570	2,297	2,075	25	2,100	
2024	申込	1	—	48	13	62	139	6	145	4,507
	決定	1	—	4	13	18	57	4	61	
	金額	50	—	1,597	660	2,307	2,061	139	2,200	
2025	申込	1	—	64	13	78	167	7	174	5,380
	決定	1	—	6	13	20	52	5	57	
	金額	50	—	2,400	630	3,080	2,135	165	2,300	
累計	申込	35	265	2,782	368	3,450	4,571	250	4,821	183,141
	決定	39	40	188	368	635	1,389	129	1,518	
	金額	7,750	3,770	71,754	24,720	107,994	70,461	4,686	75,147	

II. 庶務の概要

1. 役員等に関する事項

2026年3月31日現在

役名	氏名		常勤・非常勤	就任年月日	備考
理事	関口 憲一	明治安田生命保険(相)名誉顧問	理事長(非常勤)	2024/6/14	2014/6/10
理事	三浦 達也	当財団事務局長	専務理事(常勤)	同	2024/6/14
理事	植田 克己	ピアニスト・東京藝術大学名誉教授	非常勤	同	2023/6/19
理事	末廣 博	TPR株式会社社会長兼CEO	同	同	2024/6/14
理事	竹内 彰雄	片倉工業株式会社元会長	同	同	2016/6/14
理事	多田羅迪夫	声楽家・東京藝術大学名誉教授	同	同	2024/6/14
理事	田中 宣一	成城大学名誉教授	同	同	2024/6/14
理事	深澤 正宏	安田不動産株式会社特別理事	同	同	2009/3/10
理事	星野 紘	全日本郷土芸能協会理事長	同	同	2009/6/ 4
理事	醤油 和男	当財団元専務理事	常勤	同	2016/6/14
監事	内海 郁夫	みなと公認会計士事務所元品質管理部長	非常勤	2025/6/19	2025/6/19
監事	飯塚(松田) 裕之	明治安田生命保険(相) 関連事業部長	同	2024/6/14	2024/6/14
評議員	朝岡 康二	沖縄県立芸術大学元学長	—	2024/6/14	2008/3/10
評議員	中野 武夫	株式会社みずほフィナンシャルグループ 顧問	—	同	2024/6/14
評議員	梅津時比古	毎日新聞特別編集委員	—	同	2023/6/19
評議員	吉田 大輔	一般財団法人教職員生涯福祉財団理事長	—	同	2024/6/14
評議員	鈴木 伸弥	明治安田生命保険(相) 特別顧問	—	同	2014/6/10
評議員	根津 嘉澄	東武鉄道株式会社代表取締役会長	—	同	2010/6/ 3
評議員	松尾 憲治	明治安田生命保険(相) 名誉顧問	—	同	2014/6/10
評議員	安田 守	安田不動産株式会社代表取締役社長	—	同	2022/6/ 6
評議員	徳岡 浩	株式会社 BeeX 取締役	—	同	2024/6/14

(注) 備考欄の年月日は最初の就任年月日

2. 選考委員に関する事項

(1) 音楽分野

2026年3月31日現在

役名	氏名		就任年月日	備考
選考委員長	植田 克己	ピアニスト・東京藝術大学名誉教授	2024/4/1	2000/04/01
選考委員	白石 美雪	音楽評論家・武蔵野美術大学教授	同	2022/05/10
選考委員	多田羅迪夫	声楽家・東京藝術大学名誉教授	同	2007/04/01
選考委員	徳永 二男	ヴァイオリニスト・桐朋学園大学特命教授	同	1991/06/23
選考委員	沼野 雄司	桐朋学園大学・大学院教授	同	2019/04/01
選考委員	山本 正治	東京藝術大学名誉教授・武蔵野音楽大学特任教授	同	2021/03/10
選考委員	山内 彰	当財団元理事	同	2022/04/01

(注) 備考欄の年月日は最初の就任年月日

(2) 伝統文化分野

2026年3月31日現在

役名	氏名		就任年月日	備考
選考委員長	星野 紘	全日本郷土芸能協会理事長	2024/4/1	2014/04/01
選考委員	神野 善治	武蔵野美術大学名誉教授	同	2021/03/10
選考委員	齊藤 裕嗣	日本芸術文化振興会・ プログラムディレクター(伝統・大衆)	同	2023/04/01
選考委員	田中 宣一	成城大学名誉教授	同	1991/06/23
選考委員	茂木 栄	國學院大學名誉教授	同	2023/04/01
選考委員	山内 彰	当財団元理事	同	2022/04/01

(注) 備考欄の年月日は最初の就任年月日

3. 職員に関する事項

2026年3月31日現在

役名	氏名	担当職務	就任年月日	備考
専務理事・事務局長	三浦 達也	総括・企画・総務等	2024/4/ 1	明治安田生命より出向
理事	醤油 和男	対外諸活動、経理監視	2016/6/14	
事務局次長	千田 伸也	リスク管理・コンプライアンス	2021/4/ 1	明治安田生命より出向
係長	金子 悦子	会計・総務	2007/1/ 1	

4. 会議等開催に関する事項

(1) 理事会

開催日	出席等	議事事項	会議の結果
2025年 5月23日	決議に必要な出席 理事の数6名 出席：8名 欠席：2名 監事出席：2名	<ul style="list-style-type: none"> ・2024年度事業報告及び附属明細書承認の件 ・2024年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び附属明細書承認の件 ・2025年度音楽分野助成対象者承認の件 ・定時評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等承認の件 ・報告事項（職務執行状況報告） 	原案どおり 可決 同上 同上 同上 —
2026年 3月4日	決議に必要な出席 理事の数6名 出席：10名 欠席：0名 監事出席：2名	<ul style="list-style-type: none"> ・報告事項（職務執行状況報告） ・2026年度事業計画及び収支予算等承認の件 ・2026年度地域の伝統文化助成対象承認の件 ・選考委員全員任期満了に伴う改選の件 	— 原案どおり 可決 同上 同上

(2) 評議員会

開催日	出席等	議事事項	会議の結果
2025年 6月19日	決議に必要な出席 評議員の数6名 出席：10名 欠席：0名 監事出席：2名	<ul style="list-style-type: none"> ・2024年度事業報告及び附属明細書承認の件 ・2024年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び附属明細書承認の件 ・監事1名選任の件 ・報告事項（職務執行状況報告） 	原案どおり 可決 同上 同上 ー

(3) 選考委員会

ア. 音楽分野

開催日	内容
2025年 4月21日	<ul style="list-style-type: none"> ・2025年度申込者の第1次選考委員会（書類および映像資料審査）を東京オペラシティ小リハーサル室にて実施 ・第1次審査通過者として20名を選考
2025年 5月19日	<ul style="list-style-type: none"> ・第2次選考委員会（実技および面接審査）を東京オペラシティリサイタルホールで実施 ・2025年度海外研修助成対象候補者として6名を選考 ・指定13音楽大学から推薦された13名を2025年度国内音楽学生奨学金受給対象候補者として承認

イ. 伝統文化分野

開催日	内容
2025年 8月27日	<ul style="list-style-type: none"> ・2026年度公募方針ならびに申込要領を明治安田生命保険相互会社本社会議室にて検討し決定
2026年 2月18日	<ul style="list-style-type: none"> ・2026年度申込の選考委員会（書類および写真審査）を明治安田生命保険相互会社本社会議室にて実施し、助成対象候補者として、民俗芸能53件、民俗技術3件、合計56件を選考

(4) 監事および会計事務所による監査

開催日	内容
2025年 4月16日	<ul style="list-style-type: none"> ・外部監査強化の観点から、2024年度に顧問契約を締結した「税理士法人みなとアドバイザーズ」による2024年度決算に係る決算書その他帳簿書類等の点検を実施

2025年 4月24日	・ 津吹監事、飯塚（松田）監事による2024年度決算監査を実施
2025年 10月30日	・ 「税理士法人みなとアドバイザーズ」による中間決算に係る決算書その他帳簿書類等の点検を実施
2025年 11月19日	・ 内海監事、飯塚（松田）監事による2025年度中間監査を実施

5. 主務官庁に関する事項

- ・ 公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第22条第1項の規定に基づき、2024年度事業報告等について、2025年6月20日付で内閣府へ提出した。
- ・ 公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第13条第1項の規定に基づき、監事の変更について、2025年8月4日付で内閣府へ提出した。
- ・ 公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第22条第1項の規定に基づき、2026年度事業計画等について、2026年3月10日付で内閣府へ提出した。

6. 契約に関する事項

該当事項なし

7. 寄付金に関する事項

寄付者	申込金額	領収金額	受領日
明治安田生命保険 相互会社	4,730万円	4,730万円	2025年 4月22日

8. 法人の運営体制の充実を図るための取組み

(1) リスク管理およびコンプライアンスに関する事項

事務・システムリスク等の把握・低減、および規程・方針等の整備見直しを通じて、法令遵守と適正な業務執行の確保に努めている。

ア. コンプライアンス違反懸念、情報漏洩懸念、事務・システムリスク等、苦情に関する発生状況、対応状況等

項目	発生件数	対前年度増減	備考(傾向と対策)
コンプライアンス違反懸念	0件	—	—
情報漏洩懸念	0件	—	—
事務・システムリスク等	0件	—	—
うち重大事務リスク該当件数	0件	—	—
苦情・相談	0件	—	—

イ. 主務官庁等の外部監査結果とその指摘事項に関する改善状況

監査の名称(監査実施年度)	改善状況
—	—

ウ. 規程・方針等の整備状況

① コンプライアンス関連

2025年度「コンプライアンス取組計画」に対する評価を実施し、特段の問題はないことを確認(2025年9月、2026年3月)

② リスク管理関連

2025年度「リスク管理の重点実施事項」に対する取組みを検証し、新たに認識した課題はないことを確認(2025年9月、2026年3月)

③ 制定、改正した規程等

「公益充実資金取扱規定」制定(2025年4月)

「音楽分野選考委員会 運営細則」改正(2025年4月)

「健康宣言」制定(2025年9月)

「旅費規程」改正(2025年9月)

「コンプライアンス違反等管理・報告ルール」改正(2025年9月)

「利益相反管理規定」制定(2026年1月)

「外部委託管理規程」改正(2026年3月)

「サードパーティ管理規程」制定(2026年3月)

④ 制定、改正した手順・解説書等

「ストレスチェック実施手順・解説書」改正(2025年4月)

「執務室管理の手順・解説書」改正(2026年1月)

(2) 反社会的勢力への対応状況

公益目的事業の適正な遂行と信頼維持のため、反社条項の整備および取引先・助成先等の反社属性確認を通じて、反社会的勢力との関係を排除している。

ア. 一般契約書への反社条項導入状況

有効契約数	反社条項導入要契約	反社条項導入完了契約	完了率
8	8	8	100%

・反社条項とは、外部委託契約等において、締結先が反社会的勢力との関係を持たないことを確認する契約条項

イ. 反社情報の明治安田生命への連携状況

該当なし

ウ. 新規取引先の属性点検実施状況 (2025年4月1日～2026年3月31日)

	全取引先数			点検 必須 項目数	必須項目属性点検照会件数			点検 結果
		うち 上場企業 ・ 関連会社等	うち 個人契約			うち 代表者名	うち 個人契約	
外部委託契約 締結先	件 0	件 0	件 0	件 0	件 0	件 0	件 0	
一般契約 締結先	件 0	件 0	件 0	件 0	件 0	件 0	件 0	懸念先 なし
助成先等 (注)	件 183	件 —	件 —	件 183	件 183	件 0	件 183	懸念先 なし

(注) 助成先等：2026年度地域の伝統文化助成申込先、2025年度海外音楽研修費用助成申込者および国内音楽学生奨学金助成者

エ. 既取引先の属性点検実施状況 (2025年4月1日～2026年3月31日)

	全取引先数			点検 必須 項目数	必須項目属性点検照会件数			点検 結果
		うち 上場企業 ・ 関連会社等	うち 個人契約			うち 代表者名	うち 個人契約	
特定外部委託 契約締結先 (注1)	件 3	件 3	件 0	件 0	件 0	件 0	件 0	
その他外部委託・ 一般契約締結先 (注2)	件 5	件 1	件 0	件 5	件 5	件 5	件 0	懸念先 なし
既存助成者 (注3)	件 4	件 —	件 —	件 4	件 4	件 0	件 4	懸念先 なし

(注1) 特定外部委託：明治安田生命および明治安田グループ会社との委託契約

- ・明治安田生命保険相互会社
- ・明治安田システム・テクノロジー株式会社
- ・明治安田オフィスパートナーズ株式会社

(注2) その他外部委託・一般契約：

- ・毎日新聞社（日本音楽コンクール賞金寄託覚書）
- ・キャノンマーケティングジャパン社（キャノコピー機メンテナンス契約）
- ・カネテツ（産業廃棄物処理委託契約）
- ・小湊（産業廃棄物処理委託契約）
- ・新宿センタービル管理会社（清掃業務委託契約）

(注3) 既存助成者：

- ・2024年度以前に助成決定し2025年度に助成金を支給する海外音楽研修生および国内音楽奨学生

(3) 2025年度の重要リスクの特定

「リスク事象の影響度」および「蓋然性（発生可能性）」に基づき、毎年度、重要性の高いリスクを特定し、具体的取組みおよびモニタリングを実施している。

重要リスク	具体的取組事項	モニタリング手法
1. 資産運用環境の大幅悪化	・元本毀損リスクのある上場REITの相場の注視と「モニタリング会議」の実効性向上	・「モニタリング会議」「財産運用会議」を通じたモニタリングおよび出捐元との連携
2. ICT・DXの進展による事業環境変化への対応不十分	・「紙」に依存した公募方法からクラウド等を中核とした対外的な情報入手等の移行可能性の研究	・システムを担う関連会社と連携した調査・研究
3. サイバーインシデント等による重大なシステム障害の発生	・訓練や演習を通じた「サイバーセキュリティインシデント手順・解説書」の有効性確認	・サイバー攻撃に対する演習を通じた検証 ・標的型攻撃メールによる訓練を通じたルール遵守状況の把握
4. サステナビリティ経営に対する社会的要請への対応不十分	・助成事業の事業計画に則った持続可能な運営 ・助成対象者に対する継続フォロー等を通じた助成事業の検証	・助成事業に係る予実管理の徹底および助成対象者との継続的連携 ・「申込要領」の改正等、現状に則した事業展開
5. 大規模な自然災害やパンデミックの発生	・緊急時の出社訓練等による態勢の有効性確認 ・テレワーク態勢の施行	・「自衛消防隊訓練」を通じた対策の有効性確認 ・「経営チェックリスト」を活用した自己点検
6. 大規模な個人情報漏洩の発生	・内部管理自己点検に基づく検証態勢の構築 ・一斉廃棄(年2回)を活用したドキュメント管理	・「経営チェックリスト」を活用した自己点検 ・「点検・実査」を通じた対策の実効性確認

附属明細書

2025年度事業報告には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」はない。